

事業実施報告

開催日	令和7年10月11日（土）・12日（日）		
事業名	あつまれ！岩手山冒険村～秋～		
開催場所	国立岩手山青少年交流の家	参加人数	324人（10月11日：177人、 10月12日：147人）
対象	年中児（4歳）～小学校2年生の子どもを含む家族		
関係機関名	岩手県シェアリングネイチャー協会、子どもの遊び場 つの子のアトリエ、滝沢里山研究会		

状況報告 （事業の内容・事業の成果と課題について記載）

〔事業の内容〕

子どもが主体となって自由に思いっきり、夢中になって遊ぶプログラムを両日とも日帰りで開催した。主な活動は「焚き火」、「木登り」、「秘密基地づくり」、「落ち葉のプール」、「探検の小道」の5つ。その他にピザの提供や創作活動などのワークショップを行った。

〔成果〕

（1）事業後のアンケート結果

- ・「お子さんは遊びを楽しんだり熱中したりする様子は見られたか」という問いに対し、「とてもたくさん見られた」、「たくさん見られた」と回答した割合が99%だった。
- ・「お子さんがやりたい遊びを尊重したり、一緒になって遊びを楽しむことができたか」という問いに対しては、「とてもよくできた」、「できた」と回答した割合が100%だった。
- ・事業全体の満足度について、回答者の97%から肯定的評価が得られた。
- ・感想などの自由記述回答を見ると、「自由に遊べるのがとても良いと思った。」や、2日目は雨天での実施であったが「雨の中で遊ぶことが減多にさせてあげられないので、逆に楽しそうで良かった。」など、天候に関わらず自由な遊びの時間を満喫していただけたことが分かった。
- ・「本日はありがとうございました。最後に娘からの一言『1日じゃ足りなかったよ〜』」、「もし可能であればもっと頻繁に開催して頂きたい。もしくは、予約なしでの当日参加枠も設けてもらいたい。」など今後のニーズがあることも分かった。

（2）事業運営について

- ・「冒険村アドバイザー」の活用
準備段階で数回フィールドを訪問していただき、指導助言を得たことでプログラムの改善につながった。また、安全管理についても多くの指導助言をいただくことができた。
- ・雨天時の工夫や留意点等についての知識・スキルの蓄積
2日目は雨天だったが、あらかじめ想定・準備していた内容でどうにか対応できた。改善すべき点なども見つかかり、次年度以降の活動プログラム化に向けて、知識やスキルが蓄積できた。

〔課題〕

（1）計画・運営要領等の共有

- ・準備の計画や業務分担、運営要領等の提示があいまいだったり、直前になってからの提示だったりした。そのため、準備完了に余裕がなく、業務分担や作業内容・流れがあいまいな点もあった。

（2）プログラム数と職員数のバランス

- ・提供したいプログラムを考案することが先行し、担当職員の割当に余裕がなかった。円滑な運営や安全管理の面からも、留意して企画しなければならなかった。

状況写真



「焚き火」



「木登り」



「秘密基地づくり」



「落ち葉のプール」



「探検の小道」



「創作活動」